

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	制作基礎3	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科四年制		コース名	アニメーションコース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	90時間
単位数	3単位					授業形態	実習
教科書/教材	作業データ資料・課題を配布し、使用。必要であればその都度追加課題・資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	今泉 賢一			実務経験の有無・職種	有・アニメーター		
学習目的							
日本の商業アニメーションにおいて使用されている背景美術・撮影コンボジットの概念を理解習得することを学習目的とする。 具体的には商業として培われた職人技術の探求・考察と現場に即した作業工程への理解を深めることを目的とする。							
到達目標							
商業アニメーションに使用されている背景美術・撮影コンボジットの基本概念や用語などを理解習得することを目標とする。 背景・撮影ソフトをそれぞれを理解・習得を目標とし、作業するにあたって基本を理解し制作工程を滞りなく進行できることを目標とする。 後期後半に各自修了制作として1カットアニメーションを作成する。							
教育方法等							
授業概要	この授業では背景美術・撮影コンボジットで用いられているソフトの技術習得を目的とし、 現場の講師・教員から課題を通して適切な作業を行えるようになることを重視する。 背景美術はAdobe Photoshopを使用し、課題を通して各ツールの使用方法と作業を学ぶ。 撮影コンボジットはAdobe After Effects を使用し、課題を通して各ツールの使用方法と映像技法を学ぶ。						
注意点	履修行程がステップアップしていくことが授業の基本のため、学生が遅刻・欠席などをすると基礎習得に妨げが出てしまうことになるため、担任と連携をとりこまめに注意する。実習時、作業チェックを受けずに進行が停滞する学生が出ないよう声掛け、教室巡回を行う。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	透視図法・遠近法 【背景】			絵を構成するために最低限必要な要素を基礎から理解する			
2回	PhptoShop基礎1 【背景】			雲や空・草原を描きPhptoShopのツールを理解する			
3回	PhptoShop基礎2 【背景】			基礎的な自然物の描写を通してPhptoShopのツールを理解する			
4回	PhptoShop基礎3 【背景】			基礎的な人工物描写を通してPhptoShopのツールを理解する			
5回	デジタル映像基礎 【撮影】			実写とアニメーションの撮影作業の違いを理解する			
6回	After Effects基礎1 【撮影】			カットフォルダ・ファイルの管理を理解する			
7回	After Effects基礎2 【撮影】			タイムライン・トランスフォーム・キーフレームを理解する			
8回	アニメーション撮影基礎 【撮影】			カメラワーク・レイアウト言語の読み方を理解する			
9回	作画工程作業3 【作画】			コンテの描き方・読み方を理解する			
10回	作画工程作業4 【作画】			カメラワークの読み方・使用方法を理解する			
11回	作画工程作業5 【作画】			スライドやフォローなど表現技法を理解する			
12回	作画工程作業6 【作画】			カメラワークを用いたレイアウト作業を理解する			
13回	修了・課題制作1			これまでの授業を基に修了課題を作成する			
14回	修了・課題制作2			これまでの授業を基に修了課題を作成する			
15回	修了・課題制作3			これまでの授業を基に修了課題を作成・提出する			